



森のタペストリー

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・自然素材を生かし、自分だけのオリジナル作品を作ること、創意工夫する喜びを味わうことができます。
- ・道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など 中学校：美術、技術・家庭など

2 活動の概要

身近で入手できる木の枝や木の実で、部屋に飾れる壁掛けを作ります。写真を貼り付けるフォトフレームとして作ることもできます。

- (1)人数 160人以内
- (2)対象 小学5年生～中学生・高校生
- (3)期間 通年
- (4)時間 1時間（説明10分+活動50分）
- (5)場所 体育館、研修室1・2
- (6)経費 40円／1作品（通常バージョン）
60円／1作品（フォトフレームバージョン）
※写真の印刷1枚につき20円かかります。



<作品例>

- (7)指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

3 準備物

団体	救急薬品
個人	特になし
自然の家	材 料：自然物、幹巻きテープ、ひも・毛糸、ペーパータイ・モール 用 具：ホットボンド、延長コード、剪定ばさみ、のこぎり、紙やすり、裁ちばさみ 直定規（30 cm）、油性ペン、作業板、（両面テープ：写真貼付用） その他：バケツ水

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

口金がとても熱くなるので、やけどの危険がある。






でてきたばかりの接着剤もとても熱いので、注意する。



<グルーガン>

本体が十分冷えてからコードをむすび、返却する。

5 活動の流れ

	内 容	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら実演し、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明 	
活 動	<p>① 直定規で測って幹巻きテープ 30 cmを切る。</p> <p>② 木の枝をテープの幅程度の長さに2本切り、1本にひも（毛糸）を2カ所で結びつける。</p> <p>③ ひもを結んだ枝にペーパータイ（モール）で幹巻きテープの上側にとめる。タイ（モール）は、2本を合わせてねじって折り曲げる。下側も同じようにして枝をとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 枝は幹巻きテープの端から5 cm程度離して付ける。 ペーパータイ（モール）は1本を2等分して一本の枝をとめる。（1作品で2本使う） <p>④ 上下の枝の間に自然物をホットボンドで貼り付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドングリなど表面がスベスベしているものを貼り付けるときは、紙やすりで接着面に傷を付けてからホットボンドを付ける。 木の枝は剪定ばさみや、のこぎりで好みの長さに切る。 油性マジックで自然物に絵を描いたり着色してもよい。 写真を貼り付けるフォトフレームタイプにする場合は、自然物を付ける前に、写真を貼るスペースに油性マジックで印を付けておき、その範囲内に自然物が入らないようにする。写真は最後に両面テープで貼り付ける。 	<p>① </p> <p>② </p> <p>③  ねじって折り曲げる</p> <p>④  印はなるべく小さくつける</p> <p></p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ 	

6 実施上の留意点

- 作品を持ち帰ることを考慮し、あまり立体的な作品にしない。各自で持ち帰る際には、ビニール袋等の準備が必要である。

7 安全に実施するためのポイント

- ホットボンド使用によるやけどやのこぎり等によるけが防止のため、なるべく軍手をつけて作業する。
- やけど防止用のバケツ水を用意する。
- 刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- 用具を散乱させておかないように注意する。



<写真をつけたもの>